

読どく書しよ感かん想そ文ぶん

秘



よに
いや



読書感想文ってなにを書けばいいの？

〈読書感想文〉は、本を読んで自分が感じたことや考えたことを伝えるための文章だよ。

「おもしろかった」「かなしいおはなしだった」だけでは×！

「どこがおもしろかったのか」「どうしてかなしいと思ったのか」「そこから自分はどんなことを考えたのか」ということを書くのが大切だよ。

この本を読んでどんなことを考えたのが伝わるように、気に入った本を誰かに紹介するつもりで書いてね。



読書感想文は、「本についてではなく、自分について書くもの」ということをおぼえておいてね。



3つにやら
がんばれそう！



3つのステップで読書感想文を完成させよう

完成！

ステップ3 感想文を書いてみよう☆

かんそうぶん か

ステップ2 本を読もう☆

ほん よ

ステップ1 本をえらぼう☆

ほん

やよい図書館キャラクター

にやよい

ぺんさん

あおのすけ



にやよいたちと
いっしょに
読書感想文を
書いていこう！



ステップ1 本をえらぼう☆

好きな本をえらぼうって言われても、どうえらべばいいかわからない！

そんなときは、こんなところに注目して本をえらんでみよう。

①好きなものを想像してみよう

興味のあることがテーマになっていると、本が読みやすいよ。

自分はどんなことが好きかな？

学校・家族・習い事などから考えてみよう。

たとえば……

- 野球が好き ↓ 少年野球の物語・プロ野球選手が書いた本 など
- 動物が好き ↓ 動物が主人公の物語・動物園の飼育員さんが書いた本 など



その本を最初から最後まで読むことになるから、興味を持って読み進められることが大事だよ！

② オススメされている本からえらんでみよう

課題図書や図書館の推薦図書など、夏休みの時期になると、オススメの本がたくさん紹介されているよ。各学年に合わせてえらばれている本なので、読みやすいことまちがいなし！ 図書館や本屋さんに行つて、見てみよう。

③ 何か気に入る本をさがしてみよう

考えるのがむずかしかったら、第一印象でえらんでみよう。

表紙が好き、題名が気になる、挿絵がおもしろそう、1ページ読んでみたらつづきが気になる……など、何かしら気に入ったポイントがある本を手にとってみよう。

最初はおもしろそうと思つても、読んでみたらむずかしかった……なんてときは、途中で本を変えてもOK。
興味を持って最後まで読めることが大事だよ。





ステップ2 本を読もう☆

読む本が決まったら、さっそく本を読んでいこう。

①〜④の順に進めてね。

① 本を読みはじめる前にまずはメモ！ (下の青いところに書いていこう)

本を読む前の、今の自分の思いを書いて残しておこう。

・その本を読もうと思った理由や、きっかけは？

・読む前の本のイメージ(題名や表紙を見て思ったことなど)

読んだあとに、自分の考えがどう変わったかくらべられるよ。

② 1回目はじっくり読書をたのしもう

最初からメモをとりながら読み進めると、物語が頭に入っていない！

なんてことも。まずは、読書感想文のことはあまり考えず、たのしんで読書しよう。

① 読む前の思いメモ

にゃよいもみんなといっしょに
チャレンジするよ☆
「だいぼうけん」って
たのしそう！ 読んでみよ～
わくわく♪



③2回目はメモをしながら本を読もう

ページで、おたすけアイテム

「大きめのふせんを2色」用意しよう！

振り返りながらも一度本を読んで、心に残った場面があったら、ふせんにメモしよう。

メモのルール

①自分が思ったこと・考えたことを書く

②ページ数をメモする

③1つのふせんには、1つのことを書く(たくさん書きすぎない)



こんにゃかんじの
ふせんがおススメだよ

2色のふせんのつかい方

心に残った場面にはるふせんは、このようにつかおう♪

1色目 ↓ 自分の心の動きをメモしよう

たのしい・かなしい・すごい・おもしろい・びっくり・ぎゅぎゅ・へえ
など、心に残った場面の自分の感情をメモしよう。

2色目 ↓ 1色目のふせんを見て思ったことをメモしよう

なんでそう思ったのか、書けそうなどころは理由もメモしよう。
自分の考えが整理できるよ。

ふせんが2色はられているところは、君が気になっている場面だよ。
その中で、一番心に残ったところをえらんで、次のステップに進もう。



たのしい♪
かなしい…
びっくり!
など



そうおもった
りゆう

ふせんが2色ついたのは
3か所だね



2色のふせんのつかい方【みほん】

ひとりだったペンさん
に、あおのすけと
いうなかまができて
うれしかった。

61ページ

ふたりでいれば
サバイバルでも
こころづよいと
おもうから。

ペンさんがじぶん
のたべものをあお
のすけにわけて
あげたシーンは
とてもかんどうし
た。

95ページ

にゃよいだったら
じぶんのことです
えいっばいで、ひ
とにやさしくしよ
うなんてかんがえ
られないかもしれ
ないから。

むじんとうで
ぼうけんなんて
おもしろそう♪

3ページ

ペンさんがたった
ひとりでむじんとう
にいっていてすごい
とおもった。

10ページ

にゃよいだった
らこわくて、ひと
りでは行けない
とおもうから。

ペンさんは、およ
ぎもりょうりも
なんでもできて
かっこいい!

34ページ

にゃよいのみほん
『ペンさんのだいぼうけん』をよんで

にゃよいもやってみたよ！ いちばん
こころに残ったのはココかな… 赤でかこんでおこう



④最後に、読み終えた感想をメモしておこう（左の緑のところに書こう←）

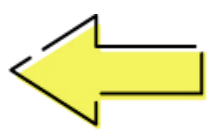
・読んでみて、一番強く感じたのはどんなことかな？

・読む前に①で書いたメモとくらべてみて、気持ちに変化はあったかな？

④読み終えた感想メモ



ペンさんから大切にや
ことをたくさん
おそわったな
ペンさんに
あこがれちゃう！



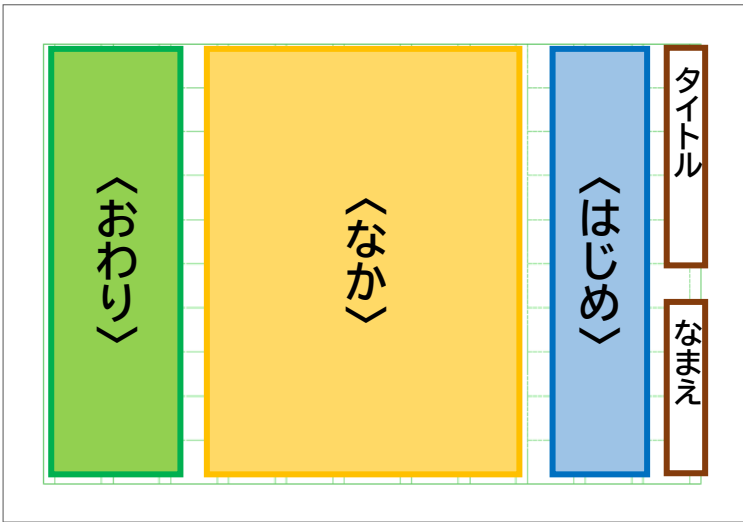


ステップ3

感想文を書いてみよう☆

さあ、メモができたから読書感想文を書きはじめよう。

読書感想文は、はじめ×なか×おわりくの3つのパートに分けて書く、書きやすく、わかりやすい文章になるよ。それぞれのパートには、こんなことを書くよう！



〈はじめ〉…① あらすじ

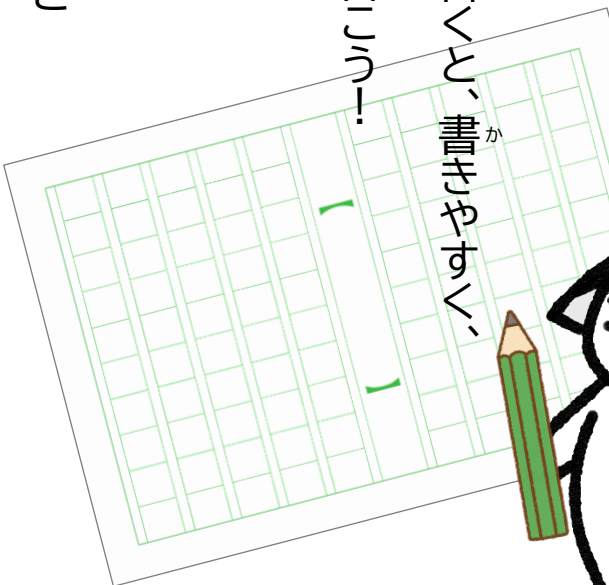
② 読む前に思ったこと

〈なか〉…① 一番心に残った場面の紹介

② その場面を読んでどう思ったのか

③ もしも自分だったら…

〈おわり〉…まとめ。読み終えて考えたこと



にゃいも書くよ～!



〈はじめ〉の「みる」を書く「う」☆

はじめの部分は、2つに分けて書く。

〈はじめ〉① あらすじ

まずはどんな本かを簡単に紹介。「だれがいつ・どこで・なにをした」にあてはめると書きやすいよ。

〈はじめ〉② 読む前に思ったこと (ステップ2の①のメモを見よう！)

その本を読もうと思った理由やきっかけ、読む前の本のイメージを書く

(左の青の「みる」を書く「う」)

〈はじめ〉① あらすじ

〈はじめ〉② 読む前に思ったこと

〈はじめ〉① あらすじ (みほん)

わたしは『べんさんのだいぼうけん』という本をよみました。これは、主人公のべんさんが夏休みにもじんとうでサバイバルをするおはなしです。

〈はじめ〉② 読む前に思ったこと (みほん)

としょかんでこの本をみつけたとき、タイトルの「だいぼうけん」ということばに、とてもわくわくして、たのしそうだとおもいよんでみることにしました。

〈なか〉の「ころ」を書こう☆

なかの部分は、3つに分けて書こう。

「ころ」では、ステップ2で書いたふせんをつかうよ。

真っ赤い丸でかこんだ、一番心に残った場面について、さらに考えてみよう。

〈なか〉① 一番心に残った場面の紹介

「ころ」でも「だれがいつどこでなにをした」にあてはめて、あらすじを書いてみよう。

(左の黄色のところに書こう↑)

〈なか〉① 一番心に残った場面の紹介

〈なか〉① 一番心に残った場面の紹介 (みほん)

この本のなかでいちばん心にのこったのは、むじんとくにきていっしゅうかんたったころ、もうたべるものがなくなってしまったあおのすけに、ぺんさんがじぶんのたべものをわけてあげたばめんです。まだであってまもないあおのすけに、ぺんさんはなにもいわずに、ハニのハニのハニかなをわけてあげました。



〈なか〉② その場面を読んでどう思ったのか

そこを読んで自分がどう感じたか、また、なんでそう感じたのか、理由を書こう。

〈なか〉② その場面を読んでどう思ったのか

〈なか〉② その場面を読んでどう思ったのか (みほん)
なかまのあおのすけのためにこうどうできるぺんさんに、
とてもかんどうしました。じぶんのたべものものこりすく
ないのに、それをきにしないで、なにもいわずにさかなを
わたしたぺんさんが、とてもかっこよかったからです。

〈なか〉③ もしも自分だったら……

もし自分だったらどうするか、想像してみよう。(同じことをするっしない?)

また、自分に似た経験があれば、そのときの自分とくらべてどうか、書いてみよう。

〈なか〉③ もしも自分だったら……

〈なか〉③ もしも自分だったら…… (みほん)

もしもじぶんだったら、じぶんが生きのびることを
かんがえるのでせいっぱいで、ほかの人にやさしく
しようなんて、かんがえられないかもしれせん。じ
ぶんのことよりも、人のことをかんがえられるぺんさ
んは、ほんとうにやさしいとおもいました。わたしも
ぺんさんのようになりたいです。

〈おわり〉の「しるし」を書こう☆

〈おわり〉まとめ (ステップ2の④のメモを見よう！)

「しるし」まで書いてきたことのまとめをするよ。本を読み終えての感想や、考えたことを書こう。



また、これをきつかけに、こんな行動をしてみたい、こんな考え方ができたらいいな、といった

気持ちがあれば書いてみよう。

(左の緑の「しるし」に書こう)

〈おわり〉まとめ

〈おわり〉まとめ (みほん)

タイトルをみて、たのしそうとおもってよみはじめた本でしたが、サバイバルはきびしくて、ドキドキハラハラのれんどくでした。よみおえてみると、人生でたいせつなことをペンさんからたくさんなぶことができました。わたしもほかの人のことをゆうせんしてかんがえられるペンさんみたいに、やさしいりっぱなねこになりたいとおもいました。そのため、まずはあいてのきもちをよくかんがえてこうどうすることからはじめていきたいです。

かんそうぶん

感想文のタイトルをつけよう☆

下書きができあがったら、最後にこの感想文のタイトルを考えよう。

タイトルは文を書く前に考えるとむずかしいので、最後につけるのがオススメです。

『○○』を読んで、ではありきたりで、ほかの人と似たようなタイトルになるかも！

この感想文を読みたいと思ってももらえないような、かついいタイトルを考えよう。

タイトルを
つける「ツ」！

・一番印象に残ったことをもりこむ

・テーマにふれる、気になった人物の名前を入れる、本のタイトルを入れる

ん～
なむ...



自分が一番言いたいことが伝わるように、十五文字くらいでギュッとまとめよう。

せいしよ 清書をしよう☆

したが、下書き、タイトルづけが終わったら、一度自分で読み返してみよう。

次のポイントを見直して、できたらチェック☑を入れよう。

- ① 漢字や言葉づかいのまちがいはないかな？
- ② タイトル・自分の名前はちゃんと書いてあるかな？
- ③ 1文が長すぎないかな？あまり長くなってしまったり、言いたいことがわかりにくくなってしまったりよ。
- ④ あらすじだけ、思ったことをならべただけの文になっていないかな？自分の考えは伝えられているかな？

おとなの人に読んでもらうのもいいと思うよ！見直しが終わったら下書きをもとに清書しよう。

せいしよ
清書が終わったら、もう一度見直しをしてから提出しよう。おつかれさまでした☆



しゅくだい お
宿題を終わらせて

なっやす
夏休みをたのしんじゃおう♪



へんしゅう はっこう
編集・発行

あだちくりつ としょかん
足立区立やよい図書館



ねん がつ
2024年7月